

こたつ布団から発煙

事例

使用中の電気こたつから発煙し、こたつ布団が焦げた。
(2008年10月 神奈川県)

原因

やぐらの中にこたつ布団を押し込んでいました。そのため、ヒーターユニットカバーに布団が接触したものです。

NITEの再現実験



座いすとともに押し込まれた掛け布団から発火しました



芯線が半断線状態となって短絡・スパークし、発火しました

うたた寝中に低温やけど

事例

電気こたつでうたた寝中に、低温やけどを負った。
(2008年3月 長崎県)

原因

うたた寝中、ヒーターユニットカバーに体が長時間触れていたためです。



掛け布団や座いす、座布団がこたつ内のヒーターユニットカバーに触れないようにしてください。

長時間、同じところを温めていると低温やけどを負うことがあります。

電源コードがこたつの脚等の下敷きになっていないか確認してください。また、折り曲げたり、ねじったりしないでください。

こたつの中で洗濯物等を乾かささないでください。

衣服に着火

事例

火災が発生し、1人が死亡した。
(2009年2月 富山県)

原因

ガスコンロでお湯を沸かしている時に衣服に着火したものです。



ガスコンロや電気ストーブなど火がつくおそれがあるものに近づき過ぎないでください。

毛足の長いものやゆったりとしたデザインなど火がつきやすい衣類には気をつけてください。火に直接あたってなくても、火から放射される熱により衣類等に火がつきますので注意してください。

自転車は正しく操作し、点検も受けましょう

前輪がロックして重傷

事例

自転車で走行中、前輪がロックしたために前方に投げ出され、重傷を負った。(2009年12月 愛知県)

原因

前ホーク内側に擦り傷がありました。何らかの異物が車輪と前ホークの間に巻き込まれ、前輪がロックした状態になったものです。



車体やハンドルに傘や袋などを吊り下げないでください。

使用を始めて1年未満の自転車で事故が多く起こっています。慣れるまで注意して運転操作をしてください。

取扱説明書に従って「日常点検」を行ってください。

また「初回点検」「定期点検」を受けてください。

衝撃で生じた亀裂が原因で転倒

事例

折り畳み自転車で走行中、突然フレームが折れて転倒し、擦過傷と打撲を負った。(2009年3月 静岡県)

原因

以前、衝撃を受けた際に変形や亀裂が生じていましたが、そのまま使用を続けたため、亀裂が拡大してフレームが破断したものです。



 このマークは、取り扱いを誤った場合、重篤な被害を負うことが予想されますので注意をお願いするものです。